

第 28 回新潟県生協連平和集会決議

2017 ピースアクション in NIIGATA 「新潟県生協連平和集会・行進は、今年で 28 回を数えることになりました。この間、私たちは、各地域で創意工夫し、さまざまな平和活動に取り組んできました。

こんにち、北朝鮮が外交的チャンネルを得られないままに、繰り返している核実験とミサイル発射の動きは、私たちの平和への願いとかけ離れた危険な状況として進んでいます。

しかし、核兵器廃絶の思いは、世界各地で悲惨な紛争・戦禍が続いている中であって、平和を願う人々によって世界中に広がっています。生物・化学兵器や対人地雷、クラスター爆弾などの兵器は、国際的に使用が禁止されている条約があるにも関わらず、核兵器を禁止する条約が未だに存在しない状況です。

また、世界で唯一の被爆国である日本が「核兵器禁止条約交渉」にアメリカの「核の傘」に依存して参加しない現状は、内外から多くの批判が寄せられています。

一昨年、世界が注目する中で開催された、核不拡散条約（NPT）再検討会議では、核兵器の非人道性を告発し、その禁止と廃絶を求める主張が大きく広がる中、今年 7 月、国連本部で開催されていた「条約制定交渉会議」で、人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が、122カ国の圧倒的多数の賛成で採択され核兵器廃絶の実現に向け世界が動き始めました。

ここに、2020 年開催の NPT 再検討会議に向けて、被爆体験の継承と実相を伝え、核兵器全面禁止・廃絶、被爆者援護の世論をさらに高めるべく、「ヒバクシャ国際署名」の積極的な取り組みを呼びかけます。

これからも、被爆者の苦難と願いを受け止め、「核兵器のない平和で公正な世界の実現」に向け行動し、核兵器禁止・廃絶の国際条約締結の実現をめざした活動をさらに広げていきましょう。

ここに決議します。

2017 年 8 月 9 日

2017 ピースアクション in NIIGATA

第 28 回新潟県生協連平和集会